

シーン - 8 里山林健全化事業

事業目的

里山広葉樹林は、薪炭や椎茸栽培の材料などとして利用され、管理されてきたましたが、生活様式の変化や山間部の人口減少・高齢化等により、利用管理されなくなってきました。このため荒廃が進むとともに、特に近年は、老齢木に好んで寄生するカシノナガキクイムシによる「ナラ枯れ被害」の拡大が懸念されることから、ナラ枯れ被害木の駆除を行い里山広葉樹林の保全を図ります。

事業効果

駆除量	500m ³
-----	-------------------

事業内容

平成25年度事業費 15,600千円

ナラ枯れ被害の駆除:被害木の駆除に対する補助
実施主体 市町村

【平成25年度】
事業量 500m³
補助額 40,000円 / m³以内



被害木の伐倒



被害木の駆除

現状



管理放棄され、荒廃が進行し、近年は、ナラ枯れ被害も深刻化しています。

税導入後のイメージ



被害木の駆除を行うことにより、被害量の増加が抑制されます。また景観の保全や公益的機能が維持されます。